慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	黒川行治教授退任記念号の刊行にあたって
Sub Title	
Author	榊原, 研互(Sakakibara, Kengo)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2018
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.61, No.1 (2018. 4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	黒川行治教授退任記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20180400--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

黒川行治教授退任記念号の刊行にあたって

黒川行治教授は2018年３月31日をもって定年を迎えられ，慶應義塾大学商学部を退任されました。商学会ではこれを記念して『三田商学研究』61巻１号を黒川行治教授退任記念号として刊行する運びとなりました。この機会に黒川教授のご功績をあらためてご紹介し，商学会および商学部を代表してご挨拶申し上げます。

黒川教授は，1975年３月に慶應義塾大学工学部をご卒業後，同大学院工学研究科に進学され，博士課程在籍中の1979年４月に商学部助手に就任されました。その後，1983年４月に助教授，1992年４月に教授に昇進され，2018年３月に定年退職されるまで39年の長きにわたり，商学部ならびに慶應義塾の発展に力を尽くしてこられました。また，1999年には本塾大学より博士（商学）の学位を授与されています。

黒川教授は，会計学の中でもとくに財務会計論，会計情報論，経営分析論，公共会計論といった分野の研究に長年にわたり従事され，数多くの優れた業績をあげてこられました。それらがいかに質の高いご研究であったかは，数々の受賞歴からも窺い知ることができます。

たとえば，1998年には論文「経営分析からみた連結財務諸表の論点」で日本経営分析学会賞を，同じく1998年に論文「企業結合とのれんの会計の検討」で日本会計研究学会賞を受賞され，さらに1999年にはご著書『合併会計選択論』に対して義塾賞が，2000年にはご著書『合併会計選択論』に対して日本公認会計士協会の学術賞が授与されました。

それだけでなく，日本ディスクロージャー研究学会会長，日本経営分析学会副会長，日本会計研究学会評議員を歴任されるなど，まさに学界をリードする研究者として活躍されてきました。

教育の面では，「会計情報論」や「公共会計論」等の授業を担当されたほか，研究会における熱心な指導を通して，多くの優れた人材を社会に送り出してこられました。その一方で，商学部学習指導主任，教職課程センター学習指導副主任，商学研究科学習指導委員，商学部会計研究室の室長を務められるなど，大学運営の上でも大きな貢献をされてきました。

塾外においては，金融庁の企業会計審議会の委員，国土交通省の道路資産評価・会計基準検討会の委員長，財務省の財政制度等審議会財政制度分科会の委員兼法制・公会計部会の部会長，地球産業文化研究所の京都メカニズム促進のための会計・税務論点調査委員会の委員長，企業会計基準委員会の排出権取引専門委員会の委員，公認会計士試験の試験委員，産業経理協会の理事長など数々の要職を務められ，社会貢献の面でも多くの実績を残されました。

このように，研究，教育，社会貢献，大学運営の各方面に多大な貢献をされたことから，商学部では，黒川教授のこれまでのご功績を称えるべく，2017年12月の教授会で名誉教授に推薦する

ことを満場一致で決定いたしました。黒川教授には学部を代表して，これまでのご尽力に心から感謝申し上げます。

定年制度のためとはいえ，黒川教授が今年の３月末をもって商学部を退任されたのは，私どもにとって大変残念なことですが，黒川教授にはご退職されました後もご健康に留意され，なお一層のご活躍をされますことをお祈りしております。そして今後も私たち後進を引き続きお導きくださいますようお願い申し上げまして，本記念号刊行のご挨拶といたします。

2018年４月

商学部長　榊　原　研　互